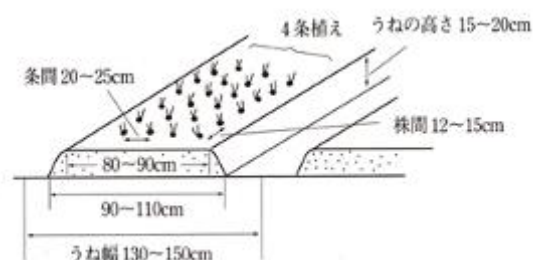


10月～11月上旬の農作業

種まき	定植	栽培のポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホウレンソウ</li> <li>・コマツナ</li> <li>・シュンギク</li> <li>・二十日ダイコン</li> <li>・エンドウ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タマネギ</li> <li>・ニンニク</li> <li>・イチゴ</li> </ul> <p>など</p>	<p><b>【ニンニクの定植】</b> ニンニクは病害虫の発生が少なく省力的で栽培しやすいですが、作土層が浅く滞水しやすい場所では腐ってしまいます。</p> <p>このような場所ではトラクターで深耕し、やや高畝にして定植しましょう。9月中下旬が適期ですが、冬期に根張りが弱いと枯死してしまうため、遅くとも10月中旬までには行いましょう。</p> <p><b>【パプリカの管理】</b> 生育維持と着色促進のため、ハウスサイド等を閉めて温度確保に努めるとともに着果や肥大の悪い果実は摘果しましょう。また、この時期に果実表面が結露することで「ラスセティング果(ひび割れ果)」の発生が多くなります。早朝に少しでも換気して湿度を下げるなど対策を行いましょう。</p>
<p>など</p>	<p><b>収穫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハクサイ</li> <li>・ブロッコリー</li> <li>・カリフラワー</li> <li>・ネギ</li> <li>・サトイモ</li> <li>・ダイコン</li> <li>・ニンジン</li> <li>・チンゲンサイ</li> <li>・長芋</li> <li>・サツマイモ</li> </ul> <p>など多数</p>	



病害虫防除情報 ～ ハモグリバエ類 ～

写真①のように、作物の葉に白くすけた蛇行線をみることはありませんか？これはハモグリバエ類による食害痕です。ウジ状の幼虫が葉の内部を蛇行しながら絵を描いたようにトンネル状に食害するため、エカキムシとも呼ばれます。多くの種類がありますが、多数の葉が白く見えるほどひどく食害されると株の生育は悪くなり、野菜では収量・品質が低下し、草花では著しく観賞価値を損ねます。

春～秋にかけて、年 5～6 回成虫が発生します。県病害虫防除所(須坂市)によると、今年はネギ、セルリー、きゅうり等で被害が目立ち、全県的に発生量がやや多く注意を促しています。被害葉は見つけ次第摘葉・処分し、密度の低いうちに薬剤防除しましょう。また、施設栽培では施設開口部に防虫ネットを設置し害虫の侵入を防ぎましょう。



写真① 株ハモグリバエ被害



写真② ハモグリバエ類幼虫

## リンゴ中晩生種の収穫適期

リンゴは中晩生種の収穫期を迎えます。基本的に満開後日数を目安に収穫開始日を決めますが、樹勢の強弱など園内環境にも左右されるので、定期的に食味や外観なども確認して総合的に判断しましょう！

< 秋 映 >

上田農業改良普及センターの熟度調査（標高 500m）より既に収穫開始可能と推測されます。ややワックスを感じ、食味も良い状態であれば出荷を開始しましょう。

< シナノスイート >

収穫適期は満開後約 150 日で、丸子地域では 10 月 3 日以降と予測されます。高標高地ほど着色良好となるため未熟果を収穫しないよう注意します。低標高地では着色よりデンプンの消失が先行する傾向であるため、逆に着色を待っていて収穫期を逃さないよう注意しましょう。

< シナノゴールド >

標高により収穫時期が異なってきます。丸子地域における収穫適期は概ね満開後約 165 日で、10 月 19 日前後～と予測されます。ややワックスを感じるようになったら食味を確かめ、総合的に判断しましょう。



## 農作業安全チェック！ ～ 野焼き ～

長野県において、農作業中の死亡事故が 6 件発生しています（平成 29 年 8 月 18 日現在）。この内 3 件が「野焼き」によるものでした。

< 長野県における実際の事故事例 >

- ★ ぶどう畑に隣接する水田の土手草をバーナーで焼いていたところ、その火がぶどう畑のワラに飛び火し、消しようとして火に近づき焼け死んだ。
- ★ りんご畑で地面に敷いたワラや下草の焼却作業を行っていたところ、燃え広がった火に巻き込まれた。1 人で農作業をしていたとみられている。



そもそも野焼きについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」によって原則禁止されていることをご存知でしょうか？農業を営むためにやむを得ないものとして、特例で農作物の残茎などの焼却については規制の例外とされています。まずは、野焼きをやらない方法を考えてみましょう！

その上で、やらざるを得ない場合は下記に注意して安全に作業を行ってください！

- ・ 複数人で周囲の状況を確認できる体制になっていますか？
- ・ 風は強くないですか？風向きを確認していますか？
- ・ 万が一のとき、どこに逃げるか常に考えていますか？
- ・ 衣服は燃えにくい素材ですか？
- ・ 緊急時のために携帯電話を持ち歩いていますか？

### あさつゆ連絡

電話番号：0268-41-1062  
FAX：0268-41-1063

### 技術事項作成協力

上田農業改良普及センター（木曾）  
電話番号：0268-25-7156（直通） FAX：0268-23-2161